

楽しむ

驚く

感謝する

助けあう

喜ぶ

敬う

いなべの未来の日常が
つなぐ



「持続可能な開発目標の実現」＝「日常生活で当たり前になること」
そして、「くり返し繋げていくこと」

“ロジカルな SDGs 教育ではない” 日常の生活・体験から気づく SDGs” をテーマに
企業と行政がパートナーシップを結び、おしゃれでカジュアルな体験型ワークショップを展開

幼児

ワークショップテーマ
「触れる」

Touch

ただ生き物に触れるだけで楽しい
そして、驚き、喜び

小学生

ワークショップテーマ
「作る」

To make

モノをつくることでの楽しみ、驚き、
教えてもらうことでの尊敬と感謝

中学生

ワークショップテーマ
「考える」

Think

自ら考え、仲間と助け合い、
テーマの共感から得る喜び

高校生

ワークショップテーマ
「伝える」

Tell

人に伝え、教えることで感謝される喜びと
自らの理解を深めることでの社会的知見の向上

次年度継続

一時的な体験に留めず、長期的な教養過程で「4つのT」がシームレスに展開し、気づきが生まれ、そして築かれる。
体験型ワークショップを通じて間接的に SDGs に「触れ・親しみ・繋ぐ」市民と企業が一体となった SDGs 推進プロジェクト構想



etc